

紫外線対策

紫外線は人体に悪影響を与える事があり、目や身を守る為の対策が必要です。木材は紫外線をよく吸収する為、木材から反射する光にはほとんど紫外線は含まれません。紫外線の反射が少なければ、目に与える刺激も小さくなることから、木材は目に優しい材料であると言えます、また、適度に音を吸収する事でまろやかになり、心地よく感じる範囲に調整してくれます。木材を多く使用した部屋は「音が響かず適度に反射する」ので聞きやすいと言われています。

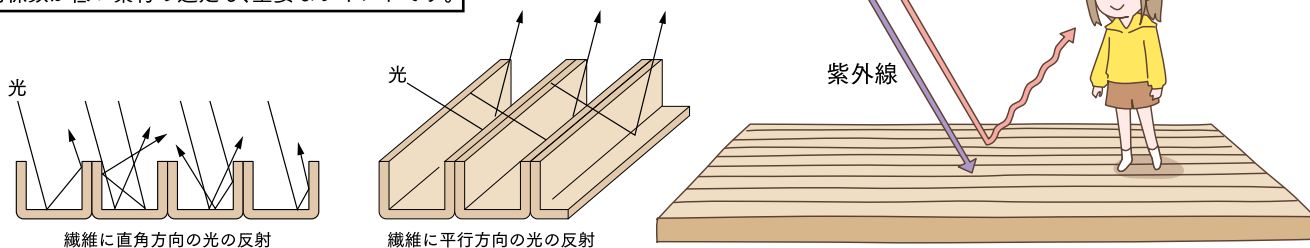
★木材は紫外線を吸収し、人体に与える悪影響を軽減しています。時間経過と共に変化した色を「日焼け」と懸念されがちですが、それは紫外線を吸収してきた証です。

表面仕上げが”ピカピカ”だと高級そうに観えてステキですが…でもそれは、「反射係数が高く紫外線吸収率が低下」したことになり、人体に与える紫外線ダメージが大きいことに結びつきます。成長期の生徒の視力や、指導者の視界に与える蓄積ダメージは計り知れません。

細胞の凹凸が光の正反射を少なくしグレア(眩しさ)を軽減してる

- 紫外線の反射が少ない…目への刺激が小さくなる
- 赤外線の反射が大きい…あたたかさ

反射係数が低い素材の選定も、重要なポイントです。



木材の成長ベクトルと組織

